

# 委 託 業 務 処 理 要 領

釧路総合振興局庁舎ボイラー等運転操作業務の実施にあたっては、委託契約書によるほか、この要領の定めるところによる。

1 委託業務の実施については、業務担当員と協議し、施設設備の善良な管理はもちろん、庁舎内の適温の維持及び公害防止に配慮し、最も経済的な運用に努めなければならない。

## 2 業務対象ボイラー

ボ イ ラ ー の 種 類	No. 1ボイラー：暖房	No. 2ボイラー：暖房	給湯ボイラー (無圧式)
型 式	昭和鉄工株式会社 S A D - 507MS		昭和鉄工株式会社 S N S - 1304A
伝 熱 面 積 ( m <sup>2</sup> )	9. 81		3. 6
使 用 燃 料	A重油		

3 業務実施内容は次のとおりとする。

### (1) 日常業務

- ① 暖房ボイラー運転・監視・定期性能検査準備等
- ② 給湯ボイラー運転・監視等
- ③ ボイラー付属機器保守点検
- ④ オイルタンク・オイルサービスタンク監視等
- ⑤ 重油給油時立会
- ⑥ 各止弁保守点検
- ⑦ 暖房ボイラー関係自動制御装置点検
- ⑧ その他附属設備保守点検

### (2) 各定期点検

- ① 暖房ボイラー保守点検（採暖期間各月の最後の月曜日（祝日の場合は前開庁日））
- ② 給湯ボイラー保守点検（年次点検1回）
- ③ オイルタンク保守点検（年次点検1回）
- ④ オイルサービスタンク保守点検（年次点検1回（オイルタンク保守点検と同日））
- ⑤ 還水タンク保守点検（年次点検1回）
- ⑥ 真空給水ポンプユニット保守点検（5月・11月）

※別添「定期点検実施日程」に従い、実施すること。

(3) 室温点検

ボイラー技士は、採暖期間中、午前・午後各1回ずつ各階事務室の室温を点検し、  
庁舎内の適温維持に努めること。

(4) ボイラー日誌の記録及び提出

ボイラー技士は、委託者の指定するボイラー日誌に定期点検の結果等必要事項を記録し、  
業務担当員に提出するものとする。

4 勤務体制は次のとおりとする。

なお、閉庁日（土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定  
する休日及び12月29日から翌年の1月3日までの日）は勤務を要しない。

ただし、委託者が必要と認めるときは、時間外勤務（30分単位で発注する）を実施する。

(1) 採暖期間（令和5年（2023年）4月、5月及び10月16日から令和6年（2024年）3月31  
日まで）

勤務時間 午前7時30分から午後5時30分まで。

※一人あたりの勤務時間が8時間を超えない2つの時間帯の交代制

勤務体制 2級ボイラー技士以上 上記時間帯 各1名

甲種又は乙種危険物取扱者第4類 1名

※危険物取扱者はボイラー技士と兼務できるものとする。

(2) 保守期間（令和5年（2023年）6月1日から10月15日までの期間の毎週月曜日（祝日の  
場合は翌開庁日））

給湯ボイラー運転・監視、暖房ボイラー保守点検等

勤務時間 午前8時45分から午前10時45分まで。

勤務体制 甲種危険物取扱者又は乙種危険物取扱者第4類 1名

5 業務に当たっては、安全に努め、必要な法令規則等を遵守しなければならない。

また、この法令規則等への運用について改善等の必要がある場合は、速やかに業務担当員  
を通じて委託者に申し出なければならない。

6 業務の実施に要する消耗資材及び工具は受託者の負担とする。

(1) 消耗品

グリス 潤滑油 軽油 ウェス 真ちゅう磨 パッキン ホース ハンダ  
ビス ヒューズ モクネジ 各記録紙 絶縁テープ

(2) 工具

ペンチ プライヤ ドライバー パイプレンチ ハンマー 油さし  
スケール モンキースパナ コンパス ヤスリ トーチランプ  
ウォーターポンプ 金切 金切鋸 大工鋸 グリスポンプ 清掃用具  
その他保守点検に必要な工具

7 業務を処理するために要する施設の使用に伴う供与物品は次のとおりとする。

物 品 名	呼 称	数 量	備 考
事務用片袖机	台	2	
事務用回転イス	脚	2	
ロッカー	台	1	
I C タグ	枚	2	